

=====

メールマガジン 知財座敷童（ざしきわらし）かわら版 Vol.422（2026.2.27）
東北地域知財戦略本部（東北経済産業局知的財産室）

=====

※本メールは送信専用のアドレスより配信しています。

.....

目次

.....

◆トピックス

1. IPAS2025 第 2 期 成果発表会「Demo Day」の御案内
2. 知財経営支援ネットワークの更なる強化に向けたアクションプランを策定しました
3. 弁理士インタビューシリーズをスタートしました！
4. 令和 9 年度から弁理士試験制度が変わります！
5. [IP ePlat]コンテンツリリースのお知らせ（令和 8 年 1 月・2 月）

◆ 補助金・公募情報

1. [INPIT] IPAS2026 第 1 期公募説明会のご案内
2. [再掲]「令和 8 年度 地方発明表彰」を募集中！
3. [再掲]【INPIT 外国出願補助金】令和 8 年度公募情報のお知らせ

◆セミナー、イベント情報

1. [オンラインシンポジウム]生成 AI 時代の知財コンサルに求められる力とはー
アトツギベンチャー×海外展開の支援事例を交えてー
2. 東北フードイノベーションフォーラムを開催します！
3. [東北農政局] 農林水産物・食品の海外模倣品対策セミナーのご案内
4. [再掲] [オンライン開催] 東北大学知財セミナー（第 63 回）の御案内

◆プレスリリース

◆知財座敷童（ざしきわらし）語り部

『技術の守り方にも、会社ごとの正解があります（特許とノウハウの上手な使い分け）』
（日本弁理士会東北会）

.....

トピックス

.....

1. IPAS2025 第 2 期 成果発表会「Demo Day」の御案内

INPIT（独立行政法人 工業所有権情報・研修館）は、スタートアップの成長を事業と知財の両面で加速させる「IPAS（スタートアップに向けた知財アクセラレーション事業）」の成果発表会「Demo Day」を開催します。宮城県のアイラト株式会社様の発表もごさいます。

日時：3 月 4 日（水）18:00～21:00（懇親会含む）
形式：対面（※後日アーカイブ配信を行います）
場所：SHIBUYA QWS
定員：100 名程度（※定員に達し次第応募を締め切らせていただきます）
<https://ipas-startups.inpit.go.jp/news/260304.html>

2. 知財経営支援ネットワークの更なる強化に向けたアクションプランを策定しました

特許庁、中小企業庁、INPIT、日本弁理士会及び日本商工会議所は、5者で「知財経営支援ネットワーク」を構築しています。この度、これまでの取組の継続、成果の全国への拡大、各機関における支援策等の相乗効果の向上等を目的としてアクションプランを策定しました。今後、各地域の経営、金融、海外展開等の各支援機関等とも連携しながら、本アクションプランの実現に取り組んでいきます。

<https://www.jpo.go.jp/news/ugoki/202602/2026022501.html>

3. 弁理士インタビューシリーズをスタートしました！

弁理士は、発明やデザイン、ブランドなどの知的財産を守り、技術やアイデアを社会につなげる専門家です。本特集では、実際に弁理士として活躍する方々へのインタビューを通じて、弁理士を目指したきっかけ、仕事の魅力、ワークライフバランス、弁理士試験を受験した当時の体験談などを紹介します。

https://www.jpo.go.jp/news/benrishi_about/interview/index.html

4. 令和9年度から弁理士試験制度が変わります！

令和9年度弁理士試験より、論文式筆記試験の試験科目(選択問題)の統廃合等の見直しを行います。また、免除制度の分野についても、わかりやすくするため追加や整理を行います。詳細は下記を御覧ください。

<https://www.jpo.go.jp/news/benrishi/index.html#news>

5. [IP ePlat]コンテンツリリースのお知らせ (令和8年1月・2月)

誰でも無料で学べる INPIT の e-ラーニングサイト「IP ePlat」にて、下記のコンテンツがリリースされました。是非御視聴ください。

- ・産学連携を成功に導く知財 (第2弾) ～研究者が知っておきたい特許実務～
- ・営業秘密管理指針の裁判例からみる営業秘密管理のポイント

https://www.inpit.go.jp/jinzai/topic/info_20260220.html

.....
[補助金・公募情報](#)
.....

1. [INPIT] IPAS2026 第1期公募説明会のご案内

INPIT は、「IPAS (スタートアップに向けた知財アクセラレーション事業)」の2026年度第1期(2026年8月～2027年1月)の公募説明会を開催いたします。

(説明会は30分程度を予定しており、最後に質疑応答の時間も設定しています。)

日時：3月18日(水) 17:00～17:30 (日本標準時)

形式：オンライン ※後日アーカイブ配信を行います

参加費：無料

詳細・申込 <https://peatix.com/event/4872400>

2. [再掲]「令和 8 年度 地方発明表彰」を募集中！

公益社団法人発明協会は、地方における発明の奨励と育成を図り、科学技術の向上と地域産業の振興に寄与することを目的に、全国を 8 地方に分けて開催する「地方発明表彰」において優秀な発明等を募集します。

募集期間：2 月 2 日（月）～3 月 31 日（火）

応募対象：進歩性に優れ、かつ実施効果が顕著な発明、考案、意匠

（特許、実用新案登録又は意匠登録され、実施されていること）

詳しくは、以下のサイトをご覧ください。

https://koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/R8/chihatsu_boshuyoko.html

<参考> 昨年度の東北地方発明表彰について

https://koueki.jiii.or.jp/hyosho/chihatsu/R7/chihatsu_boshuyoko.html

3. [再掲]【INPIT 外国出願補助金】令和 8 年度公募情報のお知らせ

本補助金は、中小企業・スタートアップ・大学等の外国出願に必要な費用の一部を補助することで外国における権利取得を促進させ、国際的な知的財産戦略の構築を支援することを目的としています。以下公募スケジュールをお知らせします。（申請方法は、jGrants による電子申請のみとなります。）

<令和 8 年度公募スケジュール>

第 2 回：令和 8 年 3 月 2 日～3 月 23 日

第 3 回：令和 8 年 6 月 8 日～6 月 29 日

第 4 回：令和 8 年 9 月 7 日～9 月 28 日

<https://www.inpit.go.jp/shien/gaikoku/index.html>

.....
セミナー、イベント情報
.....

1. [オンラインシンポジウム]生成 AI 時代の知財コンサルに求められる力とは— アトツギベンチャー×海外展開の支援事例を交えて—

特許庁は、令和 7 年度の知的財産コンサルティング実証調査事業を通じて得られた成果や知見を広く共有するため、2 つのテーマでトークセッションを実施します。アトツギベンチャーが新規事業で海外展開に挑む際の支援事例や、急速に普及する「生成 AI」を知財実務やコンサルティングにどう活用すべきか等、皆様の御参加をお待ちしております。

日時：3 月 10 日（火）16 時 30 分～ 18 時 00 分

形式：オンライン（Zoom）

<https://www.jpo.go.jp/news/shinchaku/event/seminer/atotsugi.html>

2. 東北フードイノベーションフォーラムを開催します！

東北経済産業局では、農林水産省との共催により、東北地域の食産業のイノベーション

創出、付加価値向上に資することを目的として、「東北フードイノベーションフォーラム」を開催いたします。

食産業のキーマンによる基調講演やパネルディスカッションのほか、付加価値向上のヒントとなるような技術の御紹介（ピッチ・展示）、支援機関の施策紹介、知財総合支援窓口による「知財活用個別相談会」も実施する盛りだくさんの1日となります！是非お申し込みください。

日時：3月19日(木) 11時00分～17時30分

場所：中小企業活性化センター 多目的ホール（仙台市青葉区中央1-3-1 AER5階）

https://www.tohoku.meti.go.jp/s_monozukuri/topics/260220.html#pres

3. [東北農政局] 農林水産物・食品の海外模倣品対策セミナーのご案内

本セミナーでは、ポッカサッポロフード&ビバレッジ株式会社の山本様より、飲食品における模倣品対策などの取り組み事例について講演いただくとともに、最新の模倣品の被害状況や実際の相談事例を基に被害を受けた際の対策を分かりやすく解説します。是非御参加ください。

日時：2026年3月10日（火）14：00～16：00

形式：オンライン（Zoom）

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_RFHhE_NeT7Oxe_QLjKPHUw#/registration

4. [再掲] [オンライン開催] 東北大学知財セミナー（第63回）の御案内

知財に関する基本的内容から先端的な法的問題まで、企業や大学の知財戦略にかかわる様々な情報を提供します。知財に御興味のある方は、情報収集の場としても御活用ください。

<第63回> 「2025年度知財関連ニュースから学ぶ知財の最前線」

日時：3月4日(水)16:00-17:30

申込 <https://peatix.com/event/4830927/view>

プレスリリース

<特許庁>

▼知財経営支援ネットワークの更なる強化に向けたアクションプランを策定しました

<https://www.meti.go.jp/press/2025/02/20260225001/20260225001.html>

<東北経済産業局>

▼特定商取引法違反の訪問購入業者に対する業務停止命令（6か月）及び指示並びに当該事業者の代表取締役に対する業務禁止命令（6か月）について

▼東日本大震災からの産業復興の現状と第2期復興・創生期間の取組

▼「東北フードイノベーションフォーラム」を開催します

▼東北地域百貨店・スーパー販売額動向（2025年12月分速報）

▼管内の経済動向（2025年12月分）

▼東北地域の鉱工業生産動向（2025年12月分速報）

<https://www.tohoku.meti.go.jp/index.html>

『技術の守り方にも、会社ごとの正解があります（特許とノウハウの上手な使い分け）』

日本弁理士会東北会
弁理士 黒沼 吉行

新しい技術や工夫が生まれたとき、「これは特許を取った方がいいのだろうか」
「それとも社内のノウハウとして大事に守るべきだろうか」と迷われた経験は
ありませんか。実はこの悩み、多くの経営者の方が一度は通る道です。

この判断は、単に知財の話というよりも、会社の将来をどう描くかという経営の話
でもあります。中期計画や事業計画を立てる際、「どこで勝負するのか」、「何を自社の
強みにするのか」を考えますが、知的財産は、その“強み”を形にして守るための道具と
いえます。

特許のよいところは、国が認めた独占権を持てる点です。競合に真似されやすい技術や、
製品・サービスの中心になる技術、これから海外展開を考えている技術などは、特許に
しておくことで安心材料になります。取引先との交渉や提携の場面でも、「特許を持って
います」と言えることがプラスに働くことがあります。

ただし、特許を出すということは、技術の中身を公開することでもあります。
公開されてもなお優位性を保てるか、少し立ち止まって考えることが大切です。

一方で、すべての技術の特許にする必要はありません。製造のコツや細かな調整方法、
長年の経験から生まれた工夫など、外からは分かりにくいものは、あえて特許にせず、
社内ノウハウとして守るという選択もあります。こうしたノウハウは、時間をかけて
会社の力になる「縁の下の資産」です。その分、情報を知る人を限定したり、社内ルールを
整えたりと、きちんと管理することが前提になります。

実際の現場では、「ここは特許で押さえる」「ここはノウハウとして大切にすると、
両方をうまく組み合わせている『二刀流の会社』が多くあります。

大切なのは、「この技術で、これからどう稼いでいきたいのか」を考えることです。
経営計画と照らし合わせてみると、守り方の方向性も自然と見えてきます。

もし判断に迷ったときは、一人で抱え込む必要はありません。

東北地域では、東北経済産業局を中心に、特許庁や INPIT、JETRO などが連携して、
経営と知財と一緒に考える支援を行っています。「特許にするかどうか、まだ決めきれない」
という段階でも相談できます。

技術をどう守り、どう生かすかは、これからの会社の成長を支える大切なテーマです。
少し肩の力を抜いて、「自社に合った守り方」を考えてみてはいかがでしょうか。

<参考>

東北経済産業局ホームページ（知的財産・特許）
<https://www.tohoku.meti.go.jp/chizai/index.html>

日本弁理士会東北会「弁理士紹介制度」
<https://www.jpaa-tohoku.jp/introduction.html>

INPIT 知財総合支援窓口

<https://www.inpit.go.jp/consul/chizaimadoguchi/index.html>

—TOHOKU—

東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）

〒980-8403 宮城県仙台市青葉区本町 3-3-1 仙台合同庁舎（B 棟）3 階

電話：022-221-4819 ★ホームページ <https://www.tohoku.meti.go.jp/chizai-enet/>

※本メールマガジンは、購読を希望された方、知的財産や産学官連携に関係する大学・企業・
公設試・自治体・産業支援機関の方、東北地域知財本部関係者に電子署名(S/MIME 証明書)を
付加しお届けしております。

※返信や配信停止、配信先変更手続の御連絡は下記メールアドレスまでお願いします

E-mail：bzl-tokkyo-chizai アットマークmeti.go.jp（注：アットマークを@にしてください。）

—CHIZAI—

※配信元：東北地域知財戦略本部事務局（東北経済産業局知的財産室）

※本メールマガジンの無断転載を禁じます。